



Library Liébana

2022年12月度展示内容のお知らせ

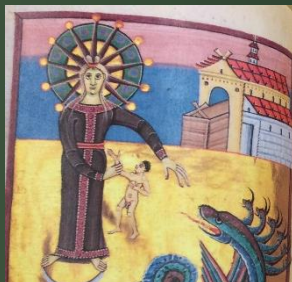
【今月のベアトゥス写本】

今回はベアトゥス写本の前後に書かれた黙示録写本も含めて、黙示録写本の流れを見たいと思います。

【初期中世黙示録写本】



(9世紀初頭：
ヴァランソエヌ黙示録写本)



(11世紀初頭：
バンベルク黙示録写本)

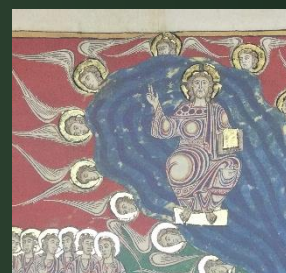
【ベアトゥス黙示録註解書写本】



(10世紀半ば：
ベアトゥスモーガン写本)



(11世紀半ば
ベアトゥスファクトゥス写本)



(12世紀後半
ベアトゥスカルデーニャ写本)

【英仏黙示録写本】



(13世紀半ば
ゲッティ黙示録写本)



(13世紀半ば
パリ黙示録写本)

【中世の写本： ヴィスコンティ時禱書】



1428年完。ミラノ公の注文で作られた豪華写本

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。



愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
毎週日曜日 10:30~17:30
H.P.

12月の開館日(予定)
日・水・木・金曜日
(HPで確認下さい)

12月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2日(金), 23日(金)は 13時から開店
4日(日), 29日(木), 30日(金)はお休みです。

ベアトウスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトウス(ベアト Beato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトウス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22 写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

今月のベアトウス写本の挿絵 【ベアトウス写本前の黙示録写本】

(1)ヴァランシエンヌ黙示録写本

9世紀初頭(第1四半期)にフランスあるいはドイツで制作されたカロリングスタイルの黙示録写本で、トリーア黙示録写本とともに残存する最初期の挿絵入り黙示録写本。

42葉の羊皮紙に38の全頁大挿絵が描かれています。

(2)バンベルク黙示録写本

カロリング朝美術に続くオットー朝美術の黙示録で挿絵入りとして唯一現存する写本。オットー3世が制作を依頼して制作された豪華写本で、金色の地が特徴である。

【ベアトウス黙示録註解書写本】

(1)モーガン写本

マドリッド写本と並んで一番初期の完本写本で、マドリッド写本と違い落丁は30葉ほどと少ないと推測。奥付けに写字・挿画をMAIUS(マイウス)が行ったと記載している。当時の写本では写字生などの名前などは記載されないのが普通であったが、ベアトウスの写本には記載されているものが多い。制作年についてはJ.ウィリアムスは940-945年頃としている。

(2)ファクンドウス写本

13世紀に制作されたラス ウェルガス写本を除くと、修道院ではなく王室の依頼で制作された唯一のベアトウス写本で、系統はモーガン写本と同じII a群です。1047年頃の作。大きさは他の写本と比較しそれほど大きくはありませんが、全312葉と一番大部な写本になっています。金・銀・紫がふんだんに使用され、豪華な挿絵が98点描かれています。

(3)カルデーニャ写本

1175年から1185年の間という比較的遅い時期に作成されたベアトウス写本の中のひとつ。

51点におよぶ細密画は極めて美しく、本書の製作に関わった装飾画家たちの技術の高さと繊細さ・緻密さを物語っており、赤・青・緑の色調が金箔の輝きと一体化した活気のある鮮やかな図像が特徴。

【ベアトウス写本後の黙示録写本】

(1)パリ黙示録写本 (MS.fr.403)

13世紀に突如流行となった英仏黙示録の初期の写本。黙示録の前後に挿入されたヨハネの生涯を描いた部分は、2段構成の全頁大挿絵(いわゆる「ピクチャー・ブック」形式)が配され、黙示録本文は半頁大の挿絵を丈夫に配して、下部にダブル・コラムでテキストを配している。

(2)ゲッティ黙示録写本

13世紀から流行した英仏黙示録の一つで、「ドゥース黙示録」より少し早い時期に制作された同系統の写本。41葉の上半分に彩色挿絵が描かれ、下半分に黒インクで黙示録本文が、赤インクでベレンガウドウスの註解書が書かれています。また、金・銀は、光輪や王冠・剣などに限られて使用されています。初めの1葉に、ヨハネがパトモス島に来る経緯が簡単に書かれています。

今月中世彩色写本

【ヴィスコンティ時禱書】

この写本はミラノ公ジャン・ガレアツツォ・ヴィスコンティ(1351-1402)の注文で、ジョヴァンニーニョ・デ・グラッシとベルベッロ・ダ・パヴィアという2人の画家が手掛けたものです。

民間の裕福な人のために写本が作られた時代の、個人的な時禱書の典型的な例です。

独特の装飾に彩られたイニシアル(ヒストリアスイニシャル*)と周縁部を埋め尽くす美しい装飾が特徴的です。また、鹿や犬といった動物も、観察に基づいて性格に描かれています。そして、いたるところにヴィスコンティ家の紋章である竜が人を食べている絵が登場しています。

(「世界で最も美しい装飾写本」田中久美子より)